

GEA国際会議歓迎レセプション
濱地政務官ご挨拶

ご列席の皆様

「GEA 国際会議 2015」の開催に際しまして、世界中から皆様を日本にお迎えできましたことを、大変嬉しく存じます。

本年は、気候変動を含めた地球環境問題、また、持続可能な開発にとって極めて重要な節目の年でございます。先日、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が NY で採択をされました。また、11 月末からは、パリで COP21 が開催され、2020 年以降の気候変動に関する新たな国際的な枠組について議論される予定でございます。

今回の国際会議のテーマである「気候変動対策と持続可能な社会の実現に向けて」は、まさしく時宜を得たもので、今後の地球環境問題の方向性を議論する有意義なものであると確信しております。

「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、持続可能な開発の実現に向けた長年の努力が結実した歴史的なアジェンダであります。人間を先頭に、地球、繁栄、平和、パートナーシップと続く「5つのP」。女性、保健、教育、防災、質の高い成長などの日本が重視してきた要素が含まれています。これは、2030 年までに貧困を地上から撲滅し、持続可能な世界を実現しようとする我々の取り組みを導くに相応しい野心的なものと考えております。

気候変動問題に効果的に対応するためには、国際社会が一体となって取り組むことが不可欠であります。その意味で、パリで合意を目指す新たな枠組は、全ての国が参加する公平かつ実効的なものとなるべきと考えております。

気候変動問題に関しましては、我が国は、2013 年から 14 年までの 2 年間で官民合わせて約 200 億ドルの支援を、途上国における気候変動の緩和と適応のために実施をしてまいりました。また、本年 5 月には、緑の気候基金（GCF）に対して 15 億ドルを拠出するための取決めに署名しております。

ご列席の皆様

本日、ここには、世界の持続可能な開発を支えるさまざまな分野について高い見識をお持ちの方々にお集まりいただいております。特に、地球環境の将来のためには、政府だけではなく、経済界、学会、**NGO**等全ての関係者がグローバルなパートナーシップを築いて取り組むことが重要と考えております。政府としては、世界が今、直面する諸問題に、皆様のご知見をお借りしつつ、国際社会とともに答えを見いだすべく、努めていく所存でございます。

ご静聴、ありがとうございました。

(了)